

# 壁掛形 据付工事説明書

PHA012D406

201904



本説明書は、室内ユニットの据付け方法を記載してあります。  
電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。  
リモコンの取付け方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。  
ワイヤレスキットの取付け方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。  
室外ユニットの据付け方法、電気配線（室外ユニット）及び冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。  
また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。  
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

## 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【△警告】**、**【△注意】**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【△警告】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【△注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**【⊙】** 絶対に行わない **【⚡】** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

## △警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。  
据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 小部屋に据付ける場合は万ー冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。（JRA GL-13）  
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けろ。万ー冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
- 設置工事は必ず付属品および指定の部品を使用する。  
当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。  
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。  
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。
- 室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。  
空気などが侵入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。  
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。
- 据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。  
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 配管、フレアナット、工具は R32 用または R410A 用を使用する。  
既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。  
フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。
- ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。  
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸欠欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。
- 据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。  
冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。  
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。  
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 改修は絶対に行ない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。  
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- パネルやガードを外した状態で運転しない。  
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事を行う。  
感電、故障や動作不良の原因になります。



## ①据付の前に

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- 次の項目を確認してください。
  - 機種・電源仕様
  - 配管・配線・小物部品
  - 付属品

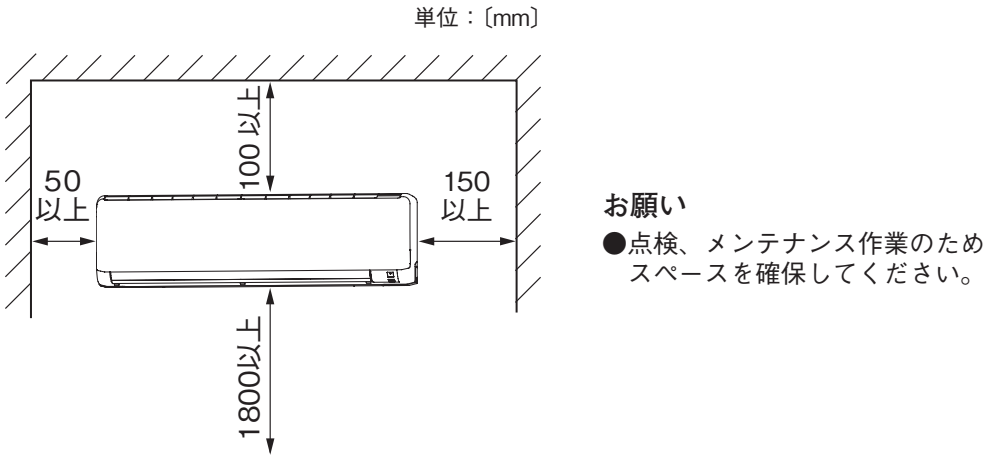
## 据付関係

1	据付板		1 個	室内ユニット裏面に付属
2	タッピンネジ		10 個	据付板用 径 4mm × 長さ 25mm
3	インシュレーション		1 個	断熱用 50mm × 100mm
4	空気清浄フィルター		2 個	付属品
5	フィルターホルダー		2 個	付属品

## ②室内ユニットの据付場所の選定

- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
  - ・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが 3m を超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
  - ・人感センサを取付ける場合据付高さは 4m 以内としてください。センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
  - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
  - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
  - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
  - ・侵入外気の影響のない所。
  - ・直射日光の当たらない所。
  - ・周囲の露点温度が 23℃以下、相対湿度 80% 以下の所。
- 〔本室内ユニットはJIS露点条件（室内：27℃/78%RH）にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度帯潤気の状態を運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合は、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
- ・テレビ、ラジオより 1m 以上離れた所。（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
- ・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
- ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。
  - ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。
- ②据付けようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われるたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③ワイヤレス機種を 2 台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を 6m 以上離してください。

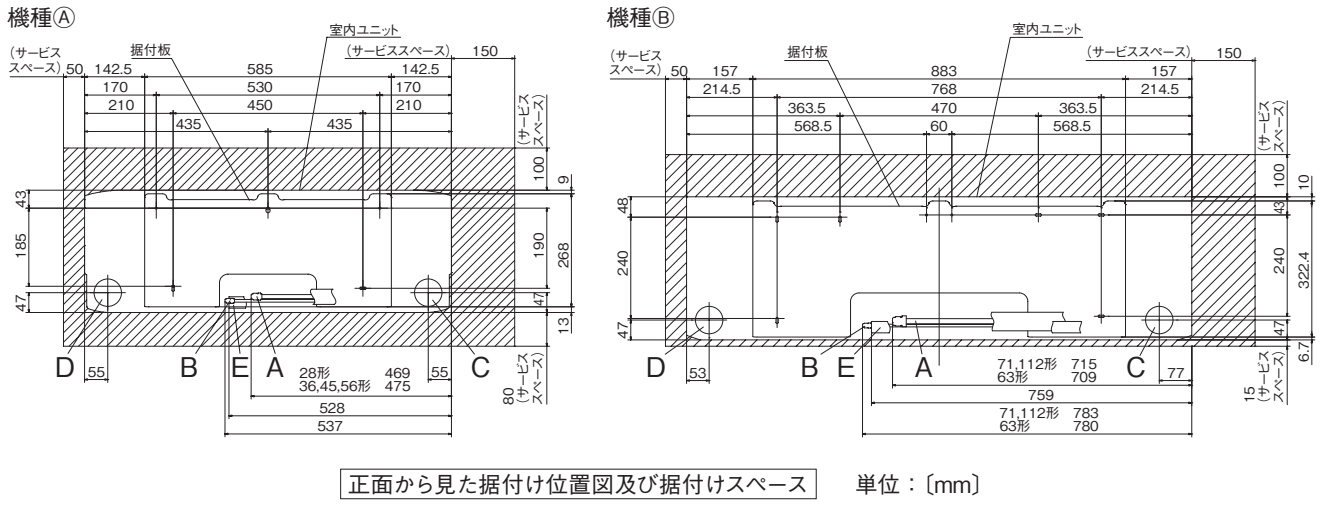
## 室内ユニット据付スペース



## △注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 漏電遮断器は必ず取り付けろ。  
漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B 種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。  
万ーガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。  
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。  
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。  
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしていません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。
- 食品・動植物、精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。  
保存物の品質低下などの原因になることがあります。
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付け、使用しない。  
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
- 次の場所への据付けは避ける。
  - ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所
  - ・硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリ・アンモニアなど
  - ・火花の煙がかかる所
  - ・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所
  - ・機器に影響する物質の発生する所
  - ・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）
  - ・車庫・船舶移動物のものへの設置
  - ・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
  - ・高周波を発生する機械を使用する所
  - ・積雪の多い所
  - ・海浜地区等塩分の多い所
  - ・標高 1000m 以上の所性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。
- 次の場所への室内ユニットの据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。
  - ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所
  - ・強度が不十分で振動が発生する所
  - ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所
  - ・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
  - ・ドレンの排水がとれない所
  - ・性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。人感センサ搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。
- エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。  
湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。
- 長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。  
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。
- 室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの進入を防止する。  
溶接作業時などに発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。  
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
- GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。  
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸欠欠乏になることがあります。
- 冷媒配管工事後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。  
万ー、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となる場合があります。
- ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。  
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。  
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。  
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。  
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。
- 製品の運搬は十分注意して行う。  
20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。  
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- 梱包材の処理は確実に行う。  
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。
- フィルタをはずしたまま運転しない。  
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。
- 濡れた手でスイッチを操作しない。  
感電の原因になることがあります。
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。  
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。
- エアコンを水洗いしない。  
感電の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

## ③据付け前の準備



機種④：店舗シリーズ 56 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 28 ～ 56 形  
機種⑤：店舗シリーズ 63、112 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 71 形

記号	記号
A	ガス側配管
B	液側配管
C	右配管後方抜壁穴
D	左配管後方抜壁穴
E	ドレンホース

## ④室内ユニットの据付け

### 搬入

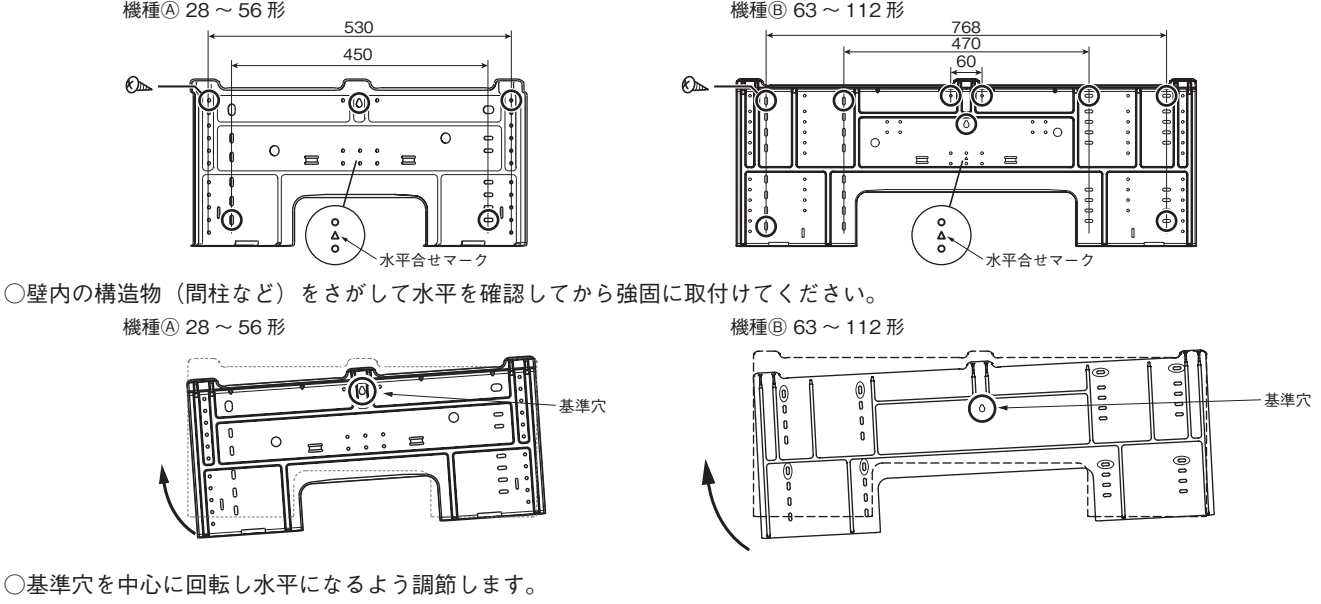


- 搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
- やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み室内ユニットを傷つけないように注意してください。  
注）吹出ルーバ部分を持たないでください。
- 解梱後室内ユニットを置く場合は、必ず室内ユニットの前面側を上にしておいてください。

### 据付板の取付け

- この室内ユニットを直接壁面等に据付けることはできません。  
いずれの場所に据付ける場合にも**必ず付属の据付板を使って据付けてください。**

○据付板の水平調節は 5 ～ 9 本のねじを仮締めした状態で行います。

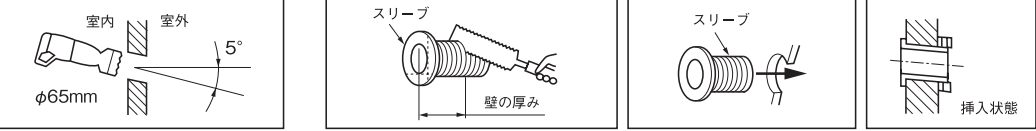




④室内ユニット据付けのつづき

壁の穴孔け要領

- 接続配線が壁の中のラスメタルなどに接触して危険が生じる場合がありますのでスリーブは必ず使用してください。
- 左後抜き配管の場合、スリーブのツバが本体よりはみ出る場合がありますので、その場合はツバを切断してください。



- φ65のホールコアドリルで穴あけをします。
- 右後抜き配管の場合はスリーブのツバの下部及び右側薄内部を切りとります。(破線指示箇所)

**警告**

壁穴をバテで完全にシールしてください。(ホコリ・昆虫・小動物・高湿度の外気が室内機内に流入し、火災の原因になることがあります。)

**注意**

壁穴をバテで完全にシールしてください。(水漏れ・露たれし、家具等を濡らす原因になることがあります。)

室内ユニットの据付

機種A 28～56形

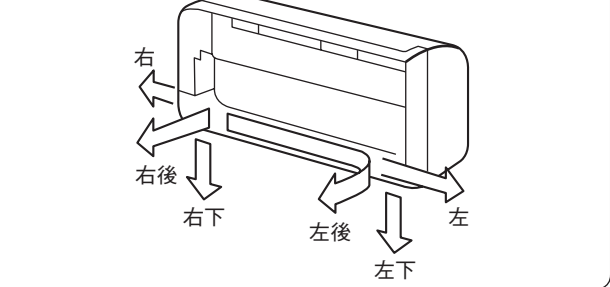
機種B 63～112形

**据付作業手順**

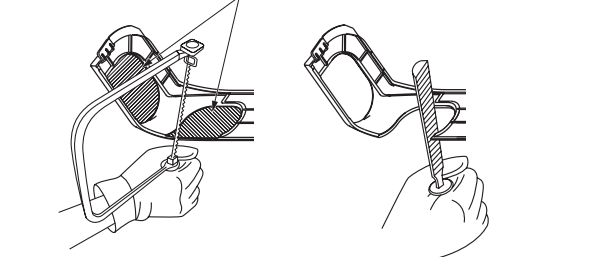
●室内ユニットを据付板から取外す場合  
室内ユニットベース下部ツメ位置マーク部を指で上方向に押しながら、室内ユニット下部両端を引っ上げてください。  
室内ユニットベース下部ツメが据付板から外れます。

⑤配管・ドレンホースの整形

配管は、後、左、左後、右、下から取り出せます。

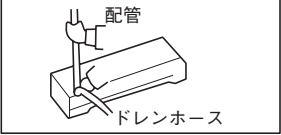


横または下部に配管する場合は、パネルを線に沿ってスムーズに切ってください。



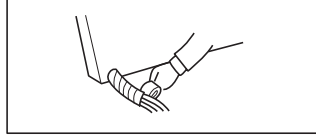
⑤配管・ドレンホースの整形のつづき

〈後取り出しの場合〉  
○配管の整形



- 配管の根元を押さえ向きを変えてから延ばし整形する

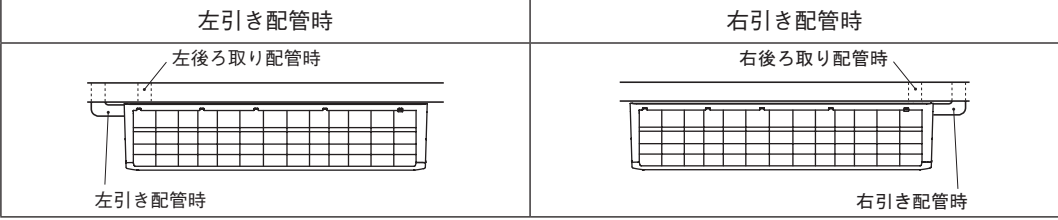
○テープ巻き



- 壁穴を通す長さ分だけテープ巻きしてください。
- 塗り配線は必ず配管とテーピングしてください。
- テープ巻きの際、ドレンホースが引っ張られないように注意してください。

配管の整形後テープ巻きを行う前に接続電線が端子台にしっかり固定されていることを確認してください。

〈左取り出し・後取り出し時の注意事項〉  
〈上から見たところ〉



〈ドレンホース付替え作業手順〉

1. ドレンホースを外します。

2. ドレンキャップを外します。

3. ドレンキャップを差し込みます。

4. ドレンホースを接続します。

- ドレンホース固定用ねじを外しドレンホースを回転させながら外してください。
  - 手または、ペンチ等で外してください。
- ドレンホースを回転させながら確実に差し込んだあと、固定用ねじを取り付けてください。  
注: 確実に差し込まれていないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。

このエアコンは背面についた露をドレンパンに集めて排水する構造になっていますので、樋より上方に電源コード等を収納しないでください。

⑥冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの (JIS B 8607 2種適合品) をご使用ください。他のフレアナット (1種) を使用すると冷媒漏れの原因となります。
- 既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書又はカタログ・技術資料で確認してください。
- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用してください。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32 用または R410A 用のフレア加工をしてください。

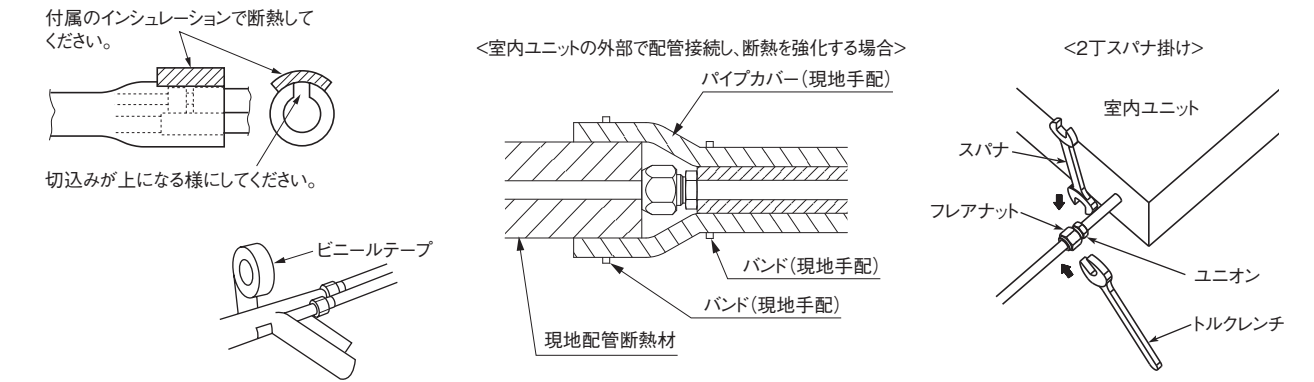
配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N・m
		リジッド (クラッチ式)	従来ツール		
6.35	0.8	R32 用 R410A 用	0.7～1.3	8.9～9.1	14～18
9.52	0.8			12.8～13.2	34～42
12.7	0.8			16.2～16.6	49～61
15.88	1			19.3～19.7	68～82
19.05	1.2			23.6～24.0	100～120

- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管 (C1220T、JIS H 3300) をご使用ください。また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等 (コンタミ) の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- 指定冷媒以外は使用しないでください。指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。
- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付けする直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- 工具は R 32 用または R 410A 用の工具を使用してください。

作業手順

- 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外してください。  
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けて外してください。  
(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
- 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続してください。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。また配管をねじったり、2/3D 以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。  
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けて上表の締付力で締めてください。
- 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、下図に示すように室内ユニットの断熱材で覆い、付属のインシュレーションで切込み部を断熱してからテーピングしてください。
  - ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。  
※配管は断熱しないことと結露し水漏れします。
  - ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。
  - 高湿度雰囲気で使用の場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
- 冷媒は室外ユニットに充填されています。  
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

注意  
同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷媒機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷媒機油塗布は推奨しません。  
冷媒機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。



⑦ドレン配管

ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
  - ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
  - 室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
  - 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
  - 水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
  - 施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
  - ドレン配管は下り勾配 (1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
- 試運転時に排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

- ドレン配管は、ドレンホース先端に硬質塩ビパイプ一般管VP-16が接続可能です。
- ドレン配管はドレン水が流れやすいようになり勾配にし、配管途中にトラップをつくったり山越え配管をしないようにしてください。  
(左、右、後、下方向に取出し可能)  
室内に施工の硬質塩ビパイプ (VP-16) は確実に断熱してください。
- 熱交換器の下ドレンパンに水を注ぎ室外へ排水されることを確認してください。(前面パネルの取付け取外しについては本説明書 ⑨電気配線取出し位置および電気配線接続 をご覧ください。)

**ドレン排水について**

- ドレンホースは必ず下り勾配を付けてください。
- 次のようなドレン排水は行わないでください。
- 延長ドレンホースが室内にある場合は必ず、シールドパイプ (現地手配) を使用して確実に断熱してください。

⑧空気清浄フィルターの取付け

下記の手順に従って室内ユニットに取付けてください。

- 吸込パネルを開け、エアフィルターを取外します。
- 付属品に同梱されている水洗いサンファルター (オレンジ) と酵素強力除菌フィルター (グリーン) をフィルターホルダーに取付けます。  
空気清浄フィルター交換時は室内ユニット本体からフィルターホルダーを取外し、新しい空気清浄フィルターと取替えてください。  
※酵素強力除菌フィルターはブリーツ (ひだ形状) が手前側になるように取付けてください。水洗いサンフィルターはどちらをおもてにいただいても結構です。
- 空気清浄フィルターを取付けたフィルターホルダーをエアコン本体に取付けてください。  
※水洗いサンフィルター、酵素強力除菌フィルターは左右どちらへ装着いたいても結構です。
- エアフィルターを取付け、吸込パネルを閉じます。

⑨店舗シリーズ機種容量統合機の場合

室外ユニットとの組み合わせにより下表の通り室内ユニット容量が自動認識されます。機種名銘板の機種容量に○印を付けてください。

室内ユニット	室内ユニット1台接続							2台接続				3台
室外ユニット	40	45	50	56	63	80	112	80	112	140	160	160
FDKZP56	P40	P45	P50	P56					P40			P50
FDKZP63					P63				P56			
FDKZP112						P80	P112			P71	P80	



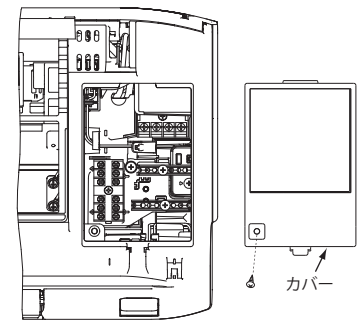
⑩電気配線取出位置および電気配線接続

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
- 電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

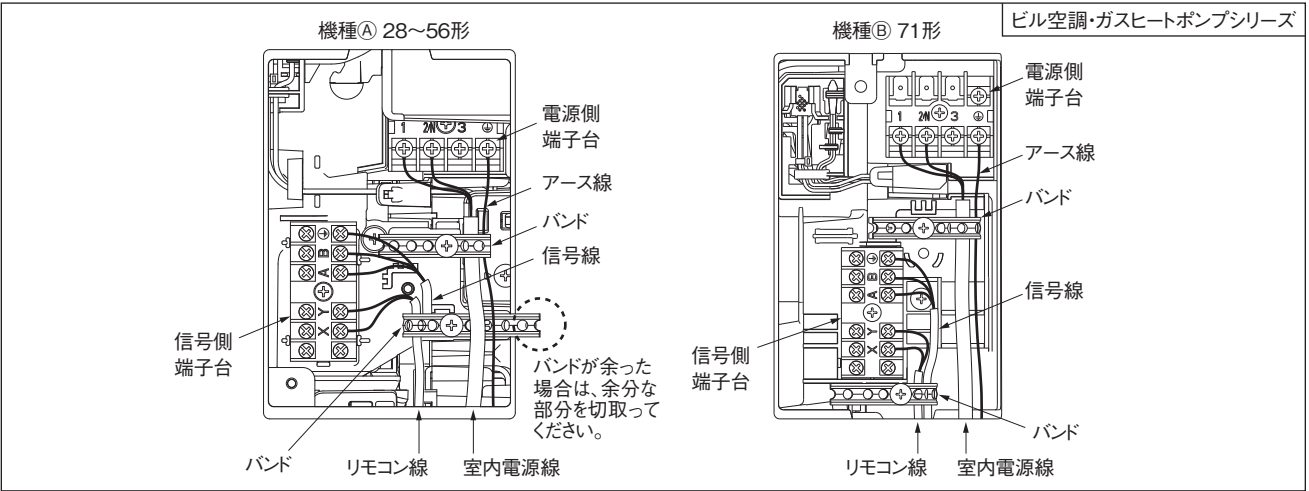
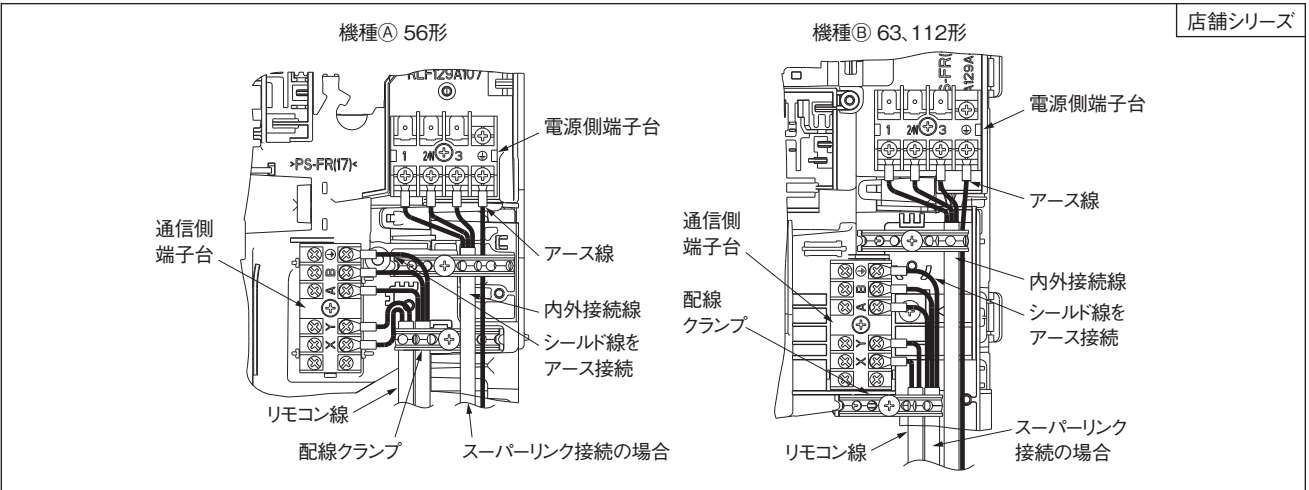
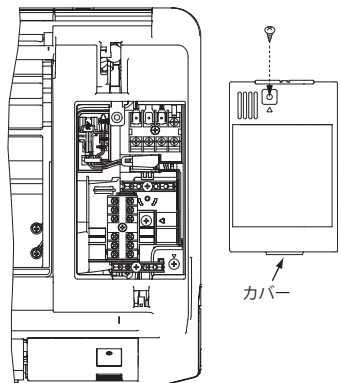
機種 A：店舗シリーズ 56 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 28～56 形  
機種 B：店舗シリーズ 63、112 形／ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ 71 形

- ①吸込パネルを手前に引き上げてください。  
左右側面の凹部に手をかけ手前に引き上げますと約 60～70°開いた状態で静止します。
- ②カバーのねじを外して、カバーを外してください。
- ③各配線を端子台に確実に接続してください。
- ④各配線をバンドで確実に固定し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにしてください。
- ⑤カバーを取り付け、ねじを締めます。
- ⑥吸込みパネルを締めます。  
(注意) ・配線を端子台に取り付けるときは、端子番号を確認してから取り付けてください。

機種 A 28～56 形



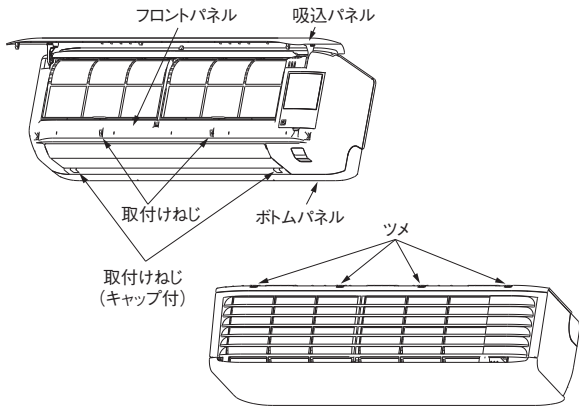
機種 B 63～112 形



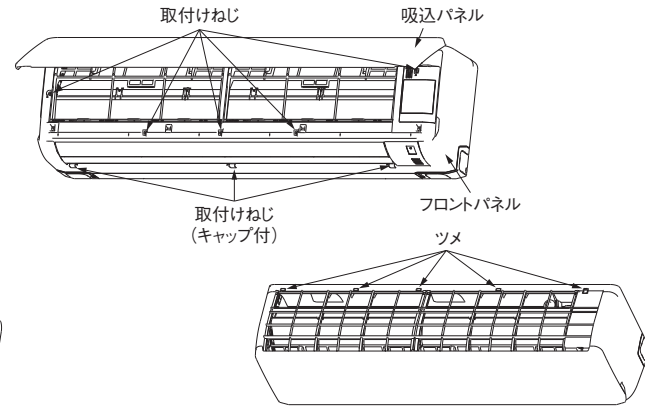
⑩電気配線取出し位置および電気配線接続のつづき

- アドレス設定  
室内ユニット本体のフロントパネルと、コントロールボックスのふたを取外すことでアドレススイッチの設定が可能です。
- 1. フロントパネルの取外し順序
  - ①吸込パネルを取外してください。
  - ②ボトムパネルの取付ねじを外してください。(機種 A のみ、キャップ付き)
  - ③ボトムパネルの両側にあるツメ (2ヶ所) を取外し、ボトムパネルのを取外してください。(機種 A のみ)
  - ④取付ねじを取外してください。(機種 A 2ヶ所、機種 B 5ヶ所・キャップ付 3ヶ所)
  - ⑤上部のツメ (機種 A 4ヶ所、機種 B 5ヶ所) を外し、フロントパネルを取外してください。
- 2. フロントパネルの取付け順序
  - ①フロントパネルを室内ユニットにかぶせ、上部のツメ (機種 A 4ヶ所、機種 B 5ヶ所) を引っ掛けてください。
  - ②取付ねじを締めます。(機種 A 2ヶ所、機種 B 5ヶ所・キャップ付 3ヶ所)
  - ③ボトムパネルの両側にあるツメ (2ヶ所) を引っ掛け、ボトムパネルを取付けてください。(機種 A のみ)
  - ④ボトムパネルの取付ねじを締めてください。(機種 A のみ、キャップ付き)
  - ⑤吸込パネルを取付けてください。

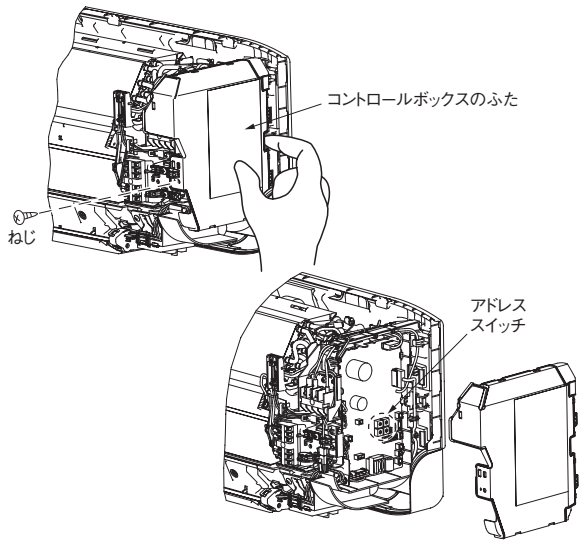
機種 A 28～56 形



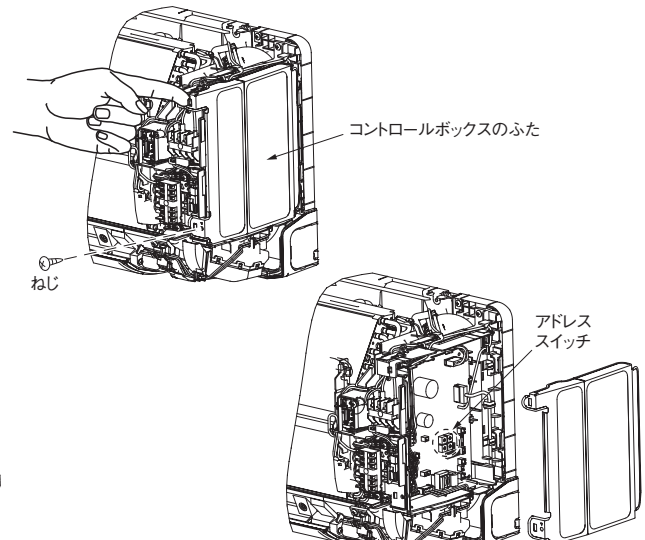
機種 B 63～112 形



機種 A 28～56 形



機種 B 63～112 形



⑪室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

- 室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	







⑥リモコンからの操作・設定

A：eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。  
B：eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。  
C：インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。

○：eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。  
△：eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。  
※1：RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。  
※2：RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。  
※3：RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク				
1 複数室内機制御		リモコン 1 台（リモコンネットワーク内）に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。		○
2 親子リモコン設定		リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン（含むワイヤレスリモコン）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作				
1 メニュー		制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2 運転モード		冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度		室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向		風向を設定します。おまかせ気流の有効／無効を設定します（FDK の場合）。※2	A	△
5 風量		風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定		タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転／停止 SW		運転を開始します。／停止します。	A	○
8 F1 スイッチ	※1	F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9 F2スイッチ	※1	F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10 言語切換	※3	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語	A	
3. 便利機能				
1 フリーフロー設定		各ルーパーの可動範囲（上限位置－下限位置）を設定します。 FDK の場合は左限位置 - 右限位置も設定します。 ※2	A	△
2 エアフレックス（風よけ）設定	※1	・詳細設定：各運転モード、各吹出口のエアフレックス（風よけ）機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF 切換：詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF（作動中／停止中）を切換ええます。	A	
3 タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
	時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ／毎日の切換が可能です。	A	△
	タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	
4 おこのみ設定 管理者パスワード	※1	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定 1、おこのみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	
5 ウィークリータイマー		1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6 るす番運転		お部屋を留守にすると、お部屋は著しく高温／低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房／暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7 換気	管理者パスワード			
	換気機器組合せの場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転／停止ができます。	A	○

5

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
8 言語切換設定		リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語／日本語 ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／オランダ語／トルコ語／ポルトガル語／ロシア語／ポーランド語／中国語 ※2	A	
9 室外静音設計	※3	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	
10 見てみて		室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット－室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11 消費電力量表示		今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット－室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定				
1 切忘れ防止タイマー		運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分（10 分単位）まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー		能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0.40 ～ 80%（20%単位）から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3 設定温度自動復帰		設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード／冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分（10 分単位）まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4 人感センサー制御 人感センサー付パネル組合せの場合	※1	人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効／無効を設定します。	A	
5. お手入れ				
1 フィルタサインリセット		フィルタサインの解除 次回清掃日の設定	A A	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
	降下長設定	グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 mの範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
	管理者パスワード		A	
	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	
3 お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効／休止を設定します。	A	
	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
管理者パスワード	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
6. ユーザ設定				
1 初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
	時刻表示設定	時刻表示のあり／なし、12 H／24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、＋1 時間の補正を行います。	A	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
	バックライト	バックライトの有効／無効、点灯時間を設定します。	A	
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり／なしを設定します。	A	
	運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
	2 管理者設定			
	管理者パスワード	・操作の許可／禁止を設定します。 [運転／停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ※1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定][ウィークリータイマー設定] [言語切換設定][ドラフト防止設定] ※1	A	△

6

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 管理者設定	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
管理者パスワード	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み（0.5℃／1.0℃）を設定します。	A	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり／なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり／なしを設定します。	A	△
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
	スイッチ機能変更 ※1	F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※3 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転 1][おこのみ設定運転 2][フィルタサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]	A	
7. サービス設定				
1 据付設定	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
サービスパスワード	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
	試運転	試運転の開始／停止を制御できます。		
	冷房試	設定 5℃ 30 分間運転します。	B	△
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
	お掃除試運転	フィルタ清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	B	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台（2 グループ）は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効／無効が設定できます。	B	
	人感センサー設定 ※1	リモコンに接続された室内機の人感センサー検知の有効／無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。	B	
	人感センサー付パネルの組合せの場合			
	グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2 リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
	吸込センサー制御	1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B	
	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△
	リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房 別々に補正可能です。	B	△
	運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△
	設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／°Fの選択が可能です。	B	
	ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○
	外部入力設定	1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○
	上下ルーパー制御	上下ルーパーの [4 位置停止]／[フリー停止]の切換ができます。	B	○

7

⑥リモコンからの操作・設定（つづき）

設定および表示項目		詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン			
2	リモコン設定	左右ルーバの [ 固定位置停止 ] ／ [ フリー停止 ] の切換ができます。	B				
	サービスパスワード	換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○		
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○		
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B			
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B			
		3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
	サービスパスワード	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○		
		外部入力 1 設定	外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B	○		
		外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。	B	○		
		外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。	B			
		外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。	B			
		暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃の範囲で補正できます。	B	△		
		吸込温度補正	吸込センサー検知温度を ±2℃の範囲で補正できます。	B	△		
		冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○		
		暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。	B	○		
		フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○		
フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○				
		ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○		
		冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○		
		暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。	B	○		
		暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○		
		送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B			
		外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B			
		運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。	B			
		サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B			
		風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B			
		室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B			
		外部出力設定 ※1	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。	B			
		4	サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
			サービスパスワード	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	○
				運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
				点検表示			
異常履歴表示	過去の異常履歴 (点検コード・発生時間) を表示します。						
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。			B	△		
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。						
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。						
室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。			B			
特殊操作	[ 室内アドレス消去 ] [ CPU リセット ] [ 初期化設定 ] [ タッチパネル調整 ] の操作ができます。			B	△		
室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。			B			
お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○				
8. 困ったときは・・・							
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL 番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A				
2	サービスを依頼される前に Q & A	Q & A が表示されます。	A				
9. 点検表示							
	点検表示確認	異常発生時の表示	A	△			
10. パソコン接続							
	USB 接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C				

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。